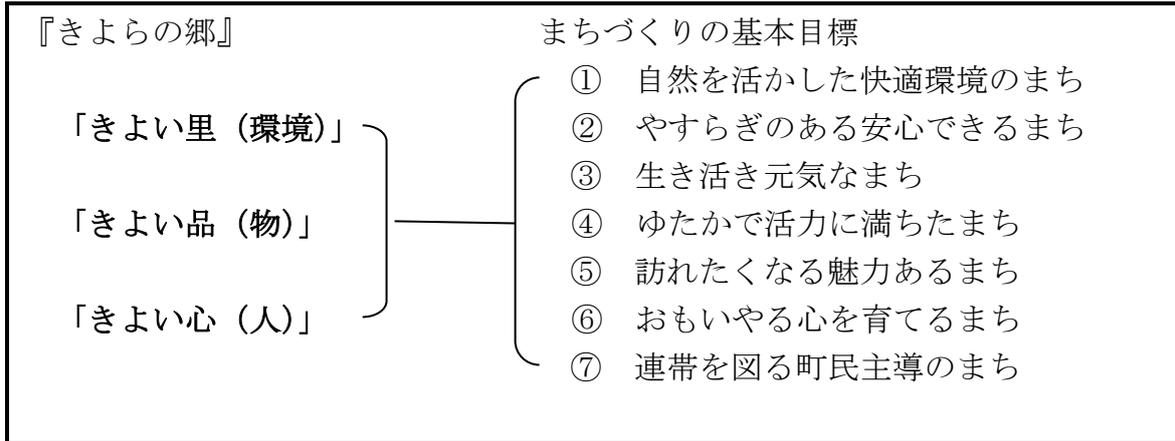


# 平成30年度南小国町教育委員会基本方針

## I 町の将来像

自然と調和した「きよらの郷」づくりを基本理念として、町民主体となった生きがいと誇りのもてる豊かなまちづくり。



## II 町の求める町民像

### 1 個人として（南小国町教育是から）

- 知性と礼儀にみち明朗にして健康な人
- ことに当り、意欲的で積極性に富み実動力を持つ人
- 創造力に富み、自分の仕事に愛情と開拓の気迫にみちた人

### 2 『町の求める子ども像』

きよらの郷づくりは、人づくりから

- ◎ 礼儀正しい子ども
  - ・ 笑顔で、気持ちよくあいさつできる子ども
- ◎ 自ら行動する子ども
  - ・ 何事も自分で考え、進んで行動する子ども
- ◎ 郷土を愛する子ども
  - ・ 南小国の良さを知り、誇りを持って町を愛する子ども
- ◎ 確かな学力を身につけた子ども
  - ・ 自分の目標を持って、自ら学習する子ども

### Ⅲ 学校教育

- 「確かな学力」と「生きる力」を育む

「学び合う・高め合う学校」

- 一人ひとりが自分の課題、目標を持ち、

主体的に取り組む児童生徒

#### 1 学校経営の充実

- 教育相談と生徒指導の充実を図り、楽しい学校経営を推進する。
- 学校振興協議会を充実し、学校、地域が一体となった活力ある、開かれた学校経営を推進する。
- 学校評価（外部評価、内部評価）の充実とそれに基づいた学校経営を推進する。

#### 2 「確かな学力」の定着

- 学力の実態を分析し、精度ある評価と指導の一体化を図る。
- 基礎的・基本的な知識・技能の習得を図り、思考力・判断力・表現力を育成する。
- 図書室の整備を図り、効果的な読書活動を推進する。

#### 3 「豊かな心」の育成

- 道徳教育の改善・充実を図り、人権感覚の高揚を図る。
- 体験的活動（自然体験、勤労生産活動、奉仕活動等）を推進し、豊かな感性と望ましい勤労観を育成する。
- 地域の教材を開発し、郷土愛を育成する。

#### 4 「健やかな体」の育成

- 食育の推進と給食指導の充実を図り、望ましい食生活を育成する。
- 体力の実態を分析し、体育指導の充実・改善を図る。
- 体力づくりの日常化を推進する。

#### 5 家庭教育の推進

- 家庭教育10ヶ条を推進し、望ましい生活習慣の確立を図る。
- 家庭学習の定着を図る。

## IV 社会教育

人権尊重を基盤として、共に暮らし、助け合う地域社会づくりを推進し、健康で良識ある町民の育成を目指し、生涯にわたる学習を促進する。

### 1 生涯学習の振興

- 公民館活動の充実を図る。・・・学習講座の開設
- 図書室の充実を図り、読書活動を推進する。・・・司書職員の配置
- 社会教育諸団体の育成とボランティア活動を推進する。

### 2 生涯スポーツの振興

- 町体育協会各種目部を育成する。
- 健康増進・介護予防の観点からのスポーツ教室を開催する。
- スポーツを生活の一部とし、日常的に親しむ環境の整備を図る。
- スポーツ振興計画策定に向けた調査研究を実施する。

### 3 青少年健全育成のための支援

- “きよらの郷”わくわくクラブの充実を図る。
- 子ども読書活動を推進する。
- 放課後子どもプランの推進を図る。
- 子どものための安心・安全な町づくりを推進する。

### 4 芸術文化の振興と文化財の保護・伝承

- 伝統芸能の保存及び後継者育成を図る。
- 史跡巡りを実施し、町民への文化財の保護意識を高める。
- 文化芸術団体の育成と支援を推進する。

### 5 人権教育の推進

- きよら人権デーの充実を図る。
- ミニ学習会を推進し、地域や各種団体における研修の充実を図る。
- 菊池恵楓園訪問を実施し、現地による学習を深める。
- 行政職員の研修を推進し、人権に対する認識を確立し、人権啓発の実践力を養う。